

《令和5年度 農業委員会事務局 組織目標の達成状況》

◆目標管理者
事務局長 相井 義博

主 令和5年度当初予算概要「主な事業の概要」に
関連する項目には、「4. 課題解決に向けた令和
5年度の具体的な取組」欄に、左の記号を記載し
ています。

1. 現状認識 （重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など）	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	4. 課題解決に向けた令和5年度の具体的な取組 【年度末実績】
米価の下落、燃料や肥料の高騰から農業収入だけでは安定的な生活が見込めないため、後継者が育ちにくいという状況が続いています。 高齢化のほか、農業機械の更新時に耕作者が見つけられないことが、農地の売却（宅地等への転用）や耕作放棄地の増加に繋がっています。 担い手が主体性を発揮し創意工夫することで経営発展できるよう、農地の更なる集積・集約化を促進する必要があります。	『人・農地プラン』を基に、関係機関（市農林水産課、土地改良区、JA、県農産普及課）や集落・地域との連携を図り、農地等の利用の最適化の推進に関する指針に掲げる『遊休農地の解消』『担い手への農地利用集積』『新規参入の促進』にかかる課題の解決・解消に努めます。 ① また、令和4年2月に農林水産省から発出された「最適化活動のガイドライン」により、最適化活動の目標を設定し、実施状況および目標達成状況について点検・評価し、その結果を公表することが定められ、詳細な実施方法等が示されたことから、さらなる農業委員会活動の「見える化」に努めます。	【取組】 農地の出し手・受け手の意向を把握し、地域における話し合いに参加することで、『人・農地プラン』において各地区で出された課題解決に向け、農地利用集積に向けた取組を進めます。 ① 【成果目標】 農地利用集積・集約化を推進します。 ・農地利用集積面積 令和4年度 717ha ➡ 令和5年度 726ha +9ha ・集積率 令和4年度 61.3% ➡ 令和5年度 62.0% +0.7%ポイント （75% [令和15年3月目標値]） 【取組】 農業委員、最適化推進委員、関係機関が連携を図り、農地パトロールを実施します。 ② 【成果目標】 無断転用行為、耕作放棄地の発生防止、解消を推進します。 ・遊休農用地面積 令和4年度 3.7ha ➡ 令和5年度 2.9ha ▲0.8ha ・遊休農用地割合 令和4年度 0.33% ➡ 令和5年度 0.26% ▲0.07%ポイント （ 0 ha [令和9年3月目標値]）	① 【取組実績】 地域計画策定に向けた担い手全体説明会および地域別担い手説明会に参加し、各地区の課題解決や農地利用の集積・集約に対する取り組みについて話し合いました。 農地利用集積面積は着実に増加したため、面積、集積率ともに目標に達することができました。 【成果目標実績】 農地利用集積面積 令和4年度 717ha ➡ 令和5年度 735ha +18ha 集積率 令和4年度 61.3% ➡ 令和5年度 65.1% +3.8%ポイント ② 【取組実績】 農地利用最適化推進委員が主となり、市農林水産課とともに農地パトロールを実施しました。 耕作放棄地の所有者に対しては、農地の適正な管理を指導するとともに、農地の貸し付けや作業委託について、助言や支援を行いました。 農業委員および農地利用最適化推進委員、事務局からの指導により草刈り等が行われたことにより、前年度よりも改善したものの、毎年、新規に発生する分があるため、目標に達することはできませんでした。 【成果目標実績】 遊休農用地面積 令和4年度 3.7ha ➡ 令和5年度 3.2ha ▲0.5ha 遊休農用地割合 令和4年度 0.33% ➡ 令和5年度 0.28% ▲0.05%ポイント